

AI 駆動開発プラットフォーム「BLADE SAYA」を提供開始へ 8,000 件の Salesforce 知見を体系化し、開発品質の向上に貢献

株式会社テラスカイ(以下、「テラスカイ」)は、顧客企業の Salesforce 開発を支援する AI 駆動開発プラットフォーム「BLADE SAYA(読み方:ブレード サヤ)」を 2026 年 11 月より提供開始いたします。

BLADE SAYA は、テラスカイが培ってきた 8,000 件超の Salesforce 開発ノウハウや、ベストプラクティスを AI の活用により、再現・実践するプラットフォームです。専用のプロンプトが組み込まれた Agent により、Salesforce 特有の制限や推奨アーキテクチャに準拠した高品質なドキュメントを即座に生成。設計・テスト・保守運用に至る各プロセスの品質を担保し、Salesforce の開発力を強化します。

【背景】

企業における Salesforce の活用領域拡大に伴い、ユーザー企業主導の Salesforce 開発が進むなかで、開発現場においては終盤での認識齟齬や考慮漏れによる「大幅な手戻り」や、開発ノウハウの属人化による「品質のばらつき」が大きな課題となっています。

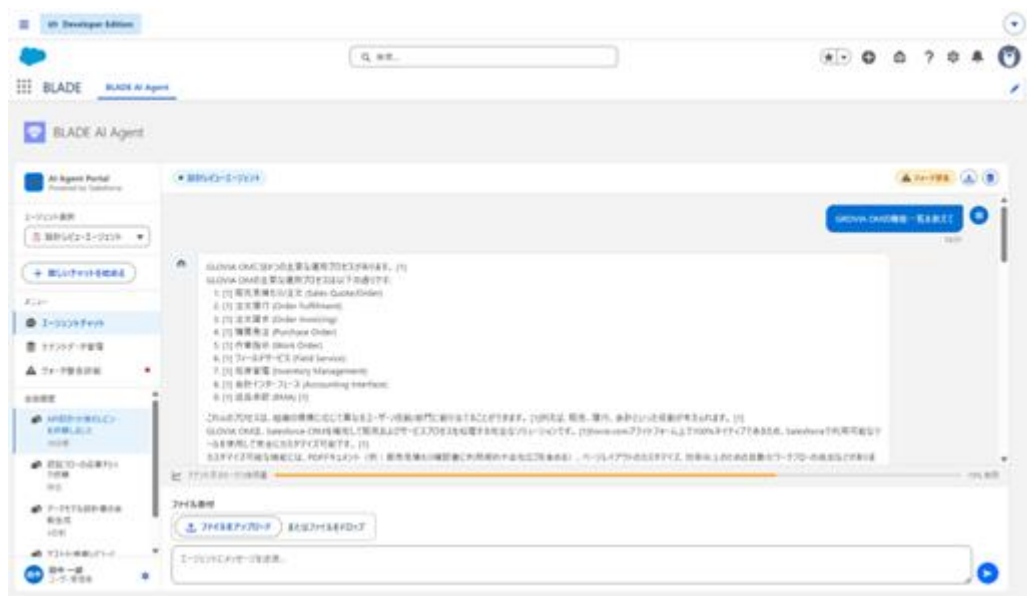
テラスカイは 2026 年 6 月より、独自のノウハウと AI を融合させた AI 駆動開発モデル「BLADE」の運用を開始し、手戻りを最小限に抑えつつ高品質な Salesforce の開発を実現しています。このたび、BLADE で活用している高度な開発ノウハウや知見を、顧客企業の開発においても展開できるよう AI 駆動開発プラットフォーム「BLADE SAYA」の提供を開始します。

【BLADE SAYA の特長】

- **実装前のゴール定義による「手戻り」の削減**
ビジネスにおけるシステム構築の目的を明確化し、業務要件からユースストーリー、受入条件を整理。開発終盤で顕在化しやすい認識齟齬や、致命的な手戻りリスクを削減します。
- **担当者を問わない一貫した「品質水準」の確保**
顧客環境における Salesforce の設定情報や設計書、業務フローなどを基に、Salesforce のベストプラクティスや特有の制限に準拠。担当者の経験に依存した属人化を防ぎ、品質のばらつきを排除することで、プロジェクト全体における高い開発水準を維持します。
- **影響範囲の可視化による「不具合リスク」の防止**
要件定義からテストまですべてを一本化する、高いトレーサビリティを確保。機能や項目が構築された本来の背景・目的の追跡を可能とし、仕様変更やバージョンアップ時における改修に伴う影響範囲の可視化及び不具合リスクの未然防止を実現します。

【BLADE SAYA が提供する主な Agent 機能】

- **機能要件一覧作成 Agent**
業務資料を解析し、標準機能と個別開発(アドオン)の最適な切り分けや制限事項を考慮した要件一覧のドラフトを生成
- **基本設計書作成・レビューAgent**
Mermaid 図を含む基本設計書のベース作成に加え、Salesforce の制約や考慮漏れを自動監査して指摘
- **詳細設計書作成 Agent**
Apex トリガ(バルク処理・再帰防止)、Apex バッチ(ガバナ制限回避)、LWC、各種フローなど、Salesforce 特有の実装スタイルに即した詳細設計書を生成
- **結合テストシナリオ作成 Agent**
一連の業務プロセスに沿って、システム間や機能間の連携を検証する整合性の高いテストシナリオを作成
- **影響分析 Agent**
既存の設計書等を横断解析し、仕様変更やバージョンアップ時の影響範囲とリスクを提示



〈Agent チャット画面〉

BLADE SAYA が生成する高品質な設計ドキュメントは、各企業における開発環境や AI コーディング環境ともに活用が可能です。またニーズに応じて、テラスカイによるコーディングや伴走支援も提供します。

テラスカイは今後、ユーザー企業主導の Salesforce 開発を推進する顧客企業へ BLADE SAYA を順次展開いたします。本サービスを通じてテラスカイが培った最先端の知見を誰もが活用可能とすることで、品質不安や手戻りリスクを解消し、すべての開発チームが確実な成果を生み出せる環境づくりを支援してまいります。

BLADE SAYA の詳細は、下記ページをご覧ください。

https://www.terrasky.co.jp/blade_saya/index.php